

最近の河川洪水に係る 防災気象情報について

気象庁 東京管区気象台

気象防災情報調整官

川嶋 徹

本日お話しすること

- 新しいスーパーコンピュータの運用開始
- 雨量分布の予報を15時間先まで延長
- 広域の気象状況の分かりやすい解説



スーパーコンピュータ 主系



スーパーコンピュータ 副系

新しいスーパーコンピュータの運用を開始します

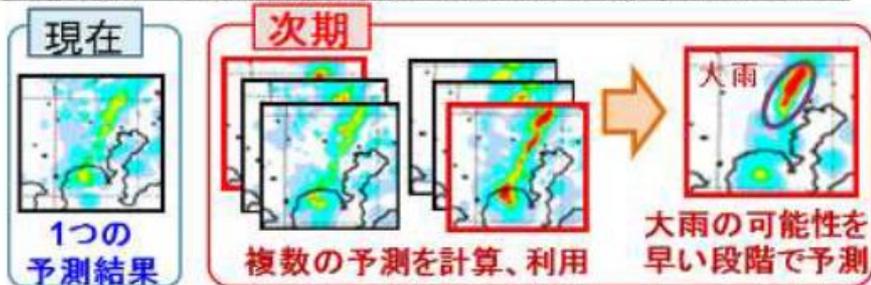
～防災・社会経済活動に役立つ気象情報の更なる改善に向けて～

気象庁では新しいスーパーコンピュータを活用し、**台風の影響**
や集中豪雨の発生可能性等を早い段階から精度良く把握
できるようにすることや、数週間先から数ヶ月先までの予測情
報等を順次改善することで、防災・日常生活・社会経済活
動の様々な場面で幅広く利活用される各種気象情報の更
なる改善に取り組んで参ります

降水予測情報、台風強度予報の改善

降水予測情報の改善

○複数の予測結果を用いた大雨予測手法の導入



○詳細な降水量予測:6時間先⇒15時間先まで延長

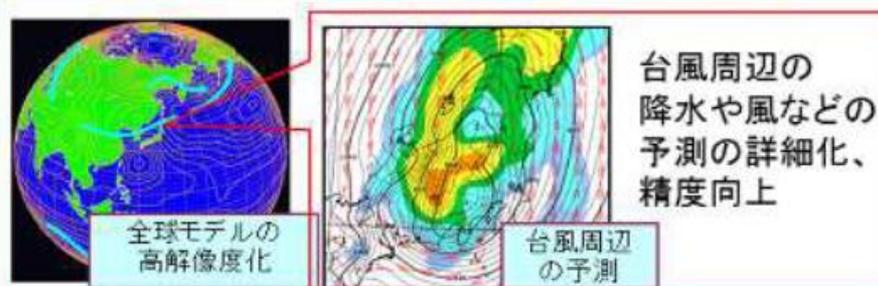
夕方
夜間
大雨

夕方の段階で夜間の警報級の大雨の可能性を予測
⇒早めの警報等の防災気象情報の発表



明るいうちの早めの自治体による防災体制や住民の避難準備を呼びかける情報の提供

台風強度予報の予報期間延長



水平解像度:

20km⇒13km

○台風強度(中心気圧・最大風速等)の予報期間の延長



・現在 3日先
・次期 5日先
延長

台風接近時の防災行動計画(タイムライン)に沿った早めの防災対応を支援

その他、2週間気温予報、黄砂情報の改善も行ないます

雨量分布の予報を15時間先まで延長します

～夕方時点です翌朝の雨量分布が把握可能に～ 6月20日より

気象庁ホームページ「今後の雨」

「解析雨量・降水短時間予報」ページを「**今後の雨（降水短時間予報）**」ページにリニューアルします。

提供開始日時：平成30年6月20日（水）11時（予定）

新しいページのURL：<https://www.jma.go.jp/jp/kaikotan/>

パソコン・タブレット



見たい地域に自由に移動し、
拡大や縮小もできるようになります

「高解像度降水ナウキャスト」や
「危険度分布」とコンテンツの
切り替えができるようになります

過去の実況から**15時間先の予報**まで
見たい時刻に自由に移動できるようになります

リニューアル!!

スマートフォン



リニューアル!!

15時間先までの予測の活用例

- 台風等により夜間から明け方にどこで大雨となる見込みかについて、前日夕方の時点で把握できるようになります。
- 特に、夕方に発表された注意報において、夜間から翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い旨に言及されている場合に、内閣府のガイドラインで必要とされている「避難準備・高齢者等避難開始」の発令や、高齢者等の避難開始の判断に活用が可能です。

翌日明け方までに大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報発表

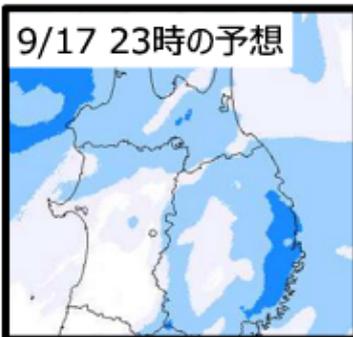


○○町 発表中心 警報・注意報等の種別	今後の降雨（■警報域 □注意報域）										備考・ 関連する現象
	17日					18日					
	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18		
大雨 （浸水害）	40	40	30	30	30	40				浸水注意	
（土砂災害）										以後土砂災害 土砂災害注意	
洪水 （浸水害）											
雷										雷害、Da5	

避難準備・高齢者等避難開始
発令の判断基準

提供開始前

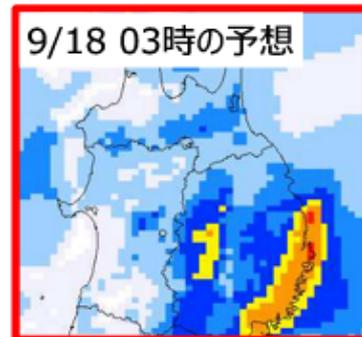
雨の予報は23時までしか分からないわ…
大雨警報に切り替わる可能性が高いって
いうけど、明け方にはどこで降るのかしら？



提供開始後

大雨警報に切り替わる明日の明け方
3時には大雨になりそうなのね…
土砂災害警戒区域に住んでいるから、
避難の準備をしなきゃ！

平成30年
6月20日
提供開始



(参考) 15時間先までの予測例

平成29年(2017年)9月17日17時(日本標準時)の例

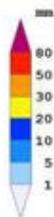
現在 17日17時 (実況)

6時間先 17日23時

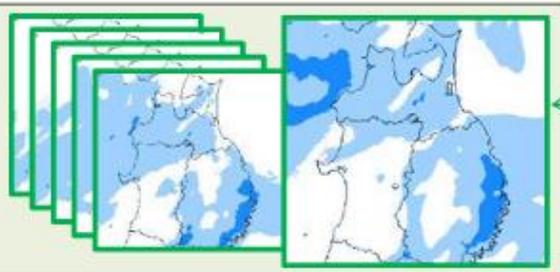
10時間先 18日3時

15時間先
18日8時

現在



17日17時時点で、23時までの降水量予報しか提供できておらず、強雨が予想されるか分からない。

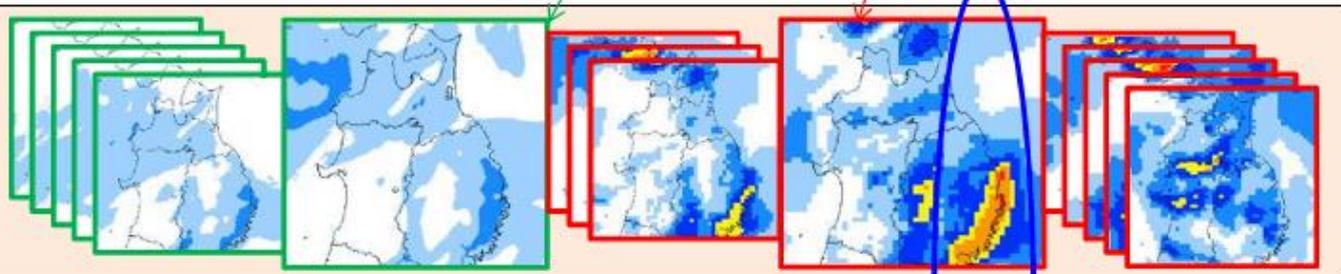


緑枠は従来の降水短時間予報

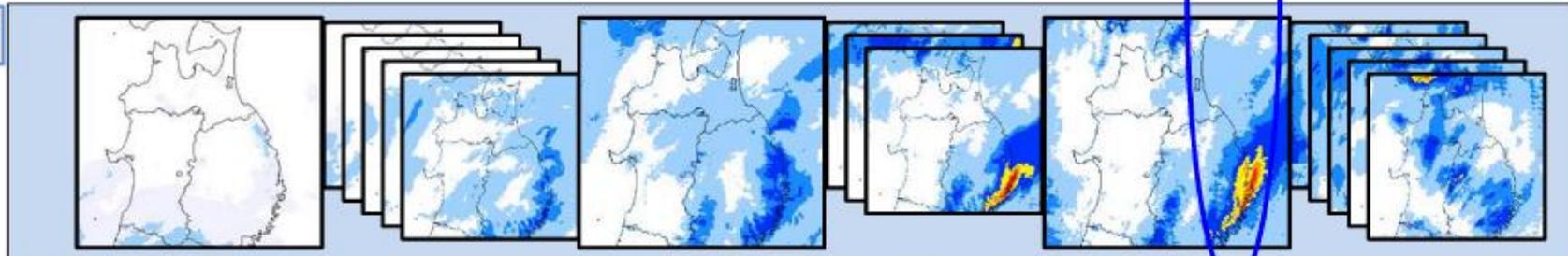
赤枠は今回延長する部分

今後

17日17時時点で、18日3時に強雨域がかかることを予想。



実際の雨量分布
(解析雨量)



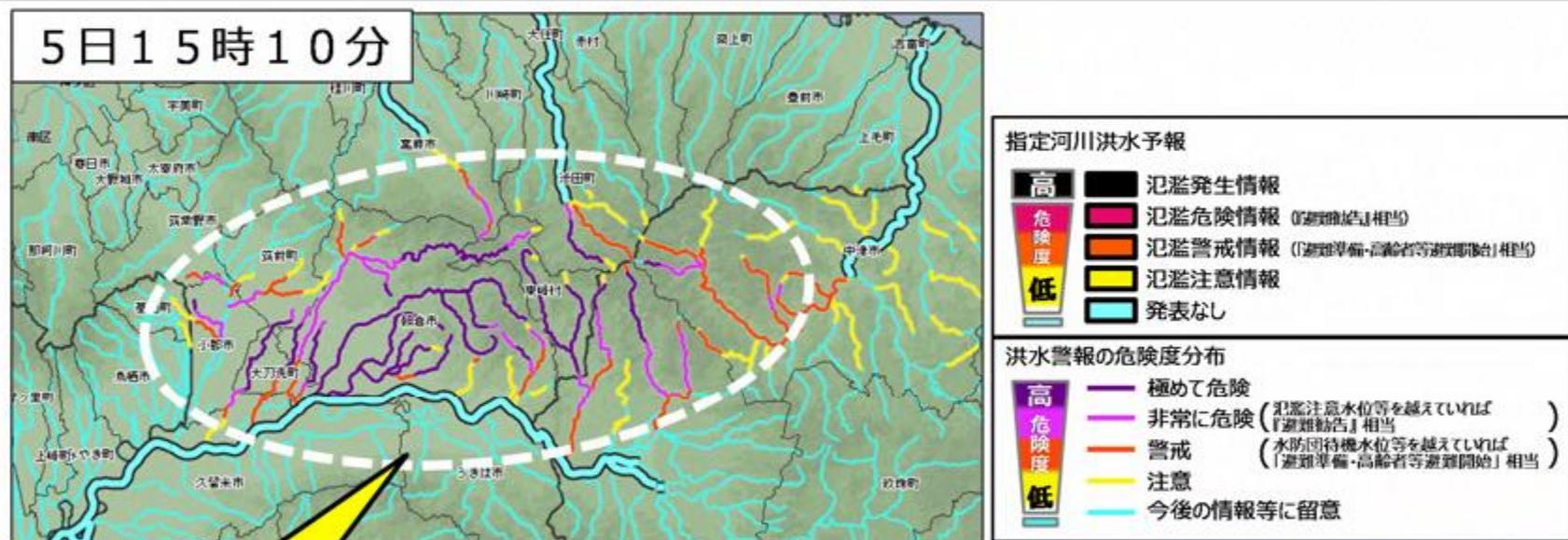
- 平成29年台風第18号の接近に伴い、18日明け方東北太平洋側に強雨域がかかることを、位置や強度のずれはありますが、17日夕方時点で予測しています(上図の青丸部分)。
- このように、例えば**夕方までに夜間から翌日の明け方における降水量の予測を提供できる**ようになります。

図形式地方気象情報のイメージ①

大雨と突風に関する九州北部地方(山口県を含む)気象情報 第4号

平成〇年7月5日15時30分 福岡管区気象台発表

福岡県・大分県の中小河川において、すでに過去の重大な洪水害発生時に匹敵する極めて危険な状況(濃い紫)となっている領域が急速に拡大しています。中小河川の急激な増水や氾濫に厳重に警戒してください。



「極めて危険」(濃い紫)の場所では、河川から氾濫した水で道路冠水等が発生し、すでに避難が困難となっているおそれがあります。このため、遅くとも「非常に危険」(薄い紫)が出現した時点で、水位計等で現況も確認の上で速やかに避難について判断することが重要です。また、上流の危険度の高まりは、その後、下流に移動してくる傾向があるため、下流においても、急激な増水を見越して速やかに安全を確保することが重要です。

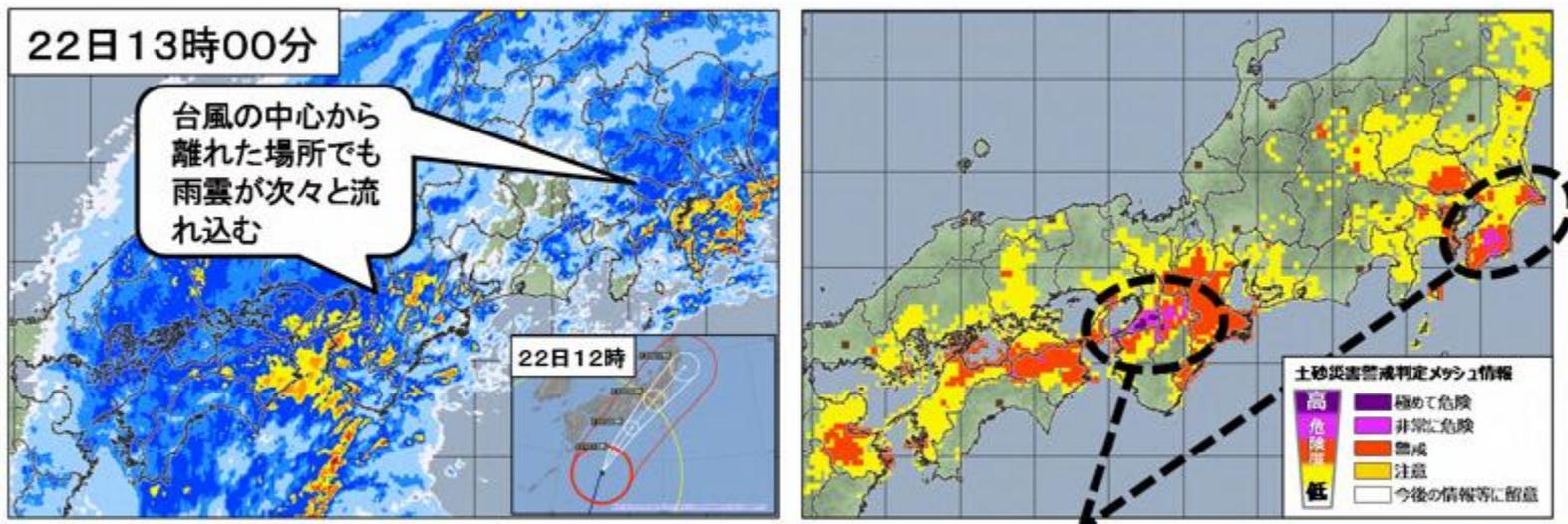
気象庁ホームページで最新の洪水警報の危険度分布 (<https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>) を確認してください。次の「大雨と突風に関する九州北部地方(山口県を含む)気象情報」は、5日16時00分頃に発表する予定です。

図形式全般気象情報のイメージ

平成〇年 台風第21号に関する情報 第52号

平成〇年10月22日13時30分 気象庁予報部発表

台風を中心からまだ離れていても、命に危険を及ぼす土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況(薄い紫)の領域が、近畿地方や関東甲信地方を中心に広がり始めています。



土砂災害警戒判定メッシュ情報において、5段階のうち最大の危険度「極めて危険」(濃い紫)が出現すると、過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する水準で、土砂災害警戒区域等では命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず、それより前の遅くとも「非常に危険」(薄い紫)が出現した段階で、土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所に速やかに避難することが重要です。

気象庁ホームページで最新の土砂災害警戒判定メッシュ情報 (<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>) を確認してください。引き続き気象台の発表する防災気象情報に留意してください。

次の「台風第21号に関する情報(総合情報)」は、22日17時頃に発表する予定です。

J E T T（気象庁防災対応支援チーム）の創設

～災害時に地方公共団体へ気象庁職員を派遣します～



報 道 発 表

平成 30 年 3 月 15 日
企 画 課

J E T T（気象庁防災対応支援チーム）の創設 ～災害時に地方公共団体へ気象庁職員を派遣します～

気象庁は、今後、大規模な災害時に、都道府県や市町村等へ J E T T（気象庁防災対応支援チーム）として気象庁職員を派遣し、現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえた気象等のきめ細かな解説を行います。

市町村等の防災対応の支援を強化すべく、今後大規模な災害が発生した（又は発生が予想される）場合に、都道府県や市町村の災害対策本部等へ J E T T（気象庁防災対応支援チーム）として気象庁職員を派遣します。

派遣された職員は、現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことにより、地方公共団体や各関係機関の防災対応を支援します。

J E T T（気象庁防災対応支援チーム）の創設

～災害時に地方公共団体へ気象庁職員を派遣します～

1. 名称

ジェット
J E T T = JMA Emergency Task Team（気象庁防災対応支援チーム）

2. 創設日

平成30年5月1日（火）

3. 補足事項

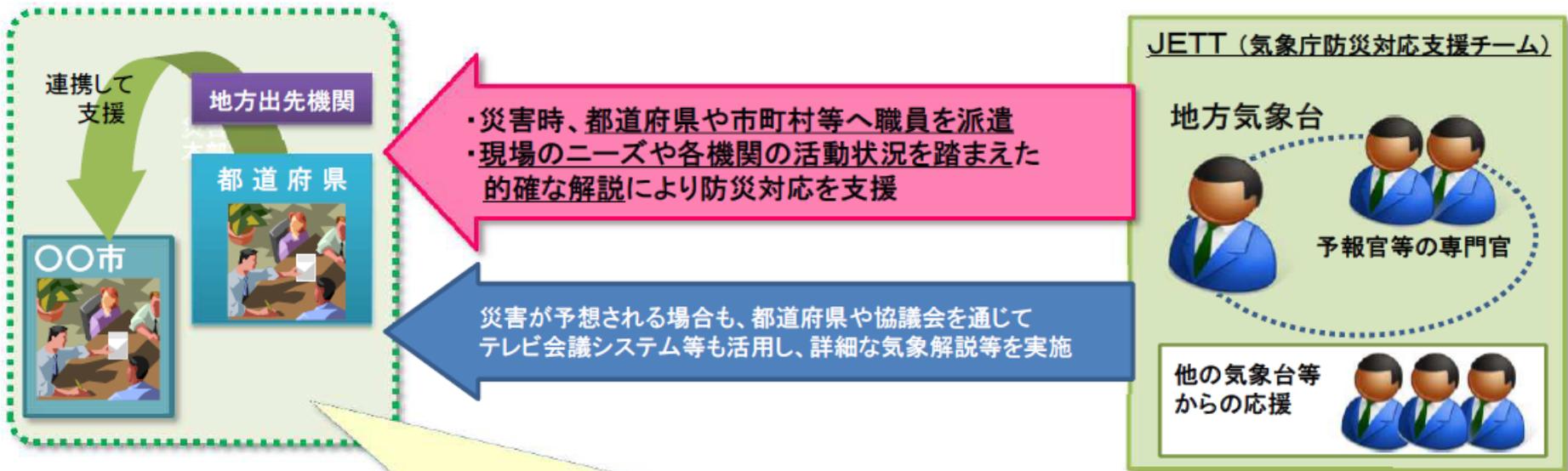
- ・ J E T T を派遣する場合には、本庁・気象台において報道発表を行う予定です。
- ・ J E T T の創設は、「地域における気象防災業務のあり方（報告書）」（平成29年8月）を踏まえたものです。*
- ・ 名称「J E T T」は、職員から募集して決定しました。

※「地域における気象防災業務のあり方（報告書）」において、自治体における災害対応に一層積極的に貢献するため、災害時に迅速に職員を派遣することが提言されている。

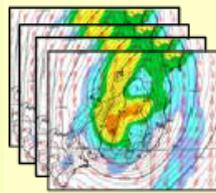
JETT(気象庁防災対応支援チーム)の創設

※ **JETT**(ジェット) = JMA Emergency Task Team

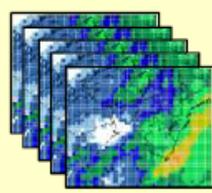
- 市町村等の防災対応の支援を強化すべく、災害が発生した(又は発生が予想される)場合に、都道府県や市町村の災害対策本部等へ**JETT(気象庁防災対応支援チーム)**として気象庁職員を派遣
- 現場のニーズや各機関の活動状況を踏まえ、気象等のきめ細かな解説を行うことなどにより、地方公共団体や各関係機関の防災対応を支援
- 国土交通省のTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の一員として活動



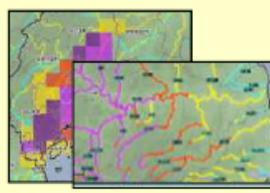
- (1) 現在の気象状況や最新の気象情報等をリアルタイムに把握
- (2) 災対本部等で入手した災害発生状況等を気象台関係者で即時共有



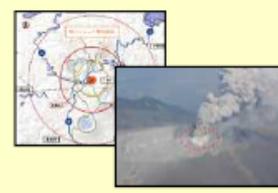
数値予報結果



解析雨量



指数関係資料



火山解説資料



災対本部等で入手した災害発生状況等

終わり